

お手入れ

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる可能性があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

清掃の際、ボックスカバーを取りはずしたり、ボックス内部に水をかけたりしないでください。商品の破損や故障につながるおそれがあります。

スクリーンを清掃する際は、ボトムバーをしっかり持って清掃してください。

雪などでスクリーンが凍結した場合は、解けるまで待ってから、乾いた布で十分に水分をふき取ってください。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。

有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。

表面に付着すると、変色するおそれがあります。

付着した場合は、すみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。

商品にキズがつくおそれがあります。

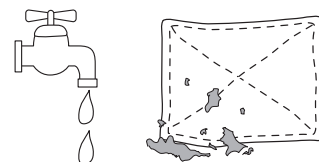
お手入れ方法

■通常のお手入れ

1

表面のホコリ・砂を落とす

柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。

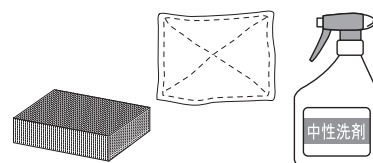


2

水ぶきする

柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3

水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。

